

令和元年度
喜多方市基本計画審議会

意見書(答申)

令和元年 10 月
喜多方市基本計画審議会

喜多方市基本計画審議会意見書

喜多方市基本計画審議会（以下「審議会」という。）は、令和元年7月16日、市長からの諮問を受け、喜多方市総合計画の基本計画の進捗状況について、令和元年7月16日及び8月26日に調査審議を行いました。

この2回にわたる審議会での議論の結果を、市長に意見書として答申します。施策の進捗状況は、おおむね順調に進展していると認められますが、改善を要する点も見受けられますので、今後ともご努力をお願いします。特に、成果指標において、現時点で進捗が見られていないものや、市民満足度・重要度調査において、満足度が低位にある施策の分野については、それらの状況を認識され、改善に向けた取り組みを図られるよう希望します。

また、移住・定住の施策の分野で実績を上げていることを評価するとともに、今後も引き続き、産業の振興と東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の払拭に取り組みながら、人口減少・少子高齢化への対応を最重要課題として位置づけ、本市総合計画の着実な推進に努めてください。

なお、市民満足度・重要度調査は、この意見書の基礎となっているため、各年齢層から標本割合（アンケート依頼数の割合）に比例したバランスの良い回答が得られるよう、アンケートの取り方を検討してください。

令和元年10月24日

喜多方市長 遠藤 忠 一 様

喜多方市基本計画審議会
会長 唐橋 幸市郎

大綱1 地域の特性を生かした力強い産業づくり

施策の分野	施策項目	
農林業	(1) 担い手の育成・確保	(6) 特色ある農業の推進
	(2) 農用地の集積と有効利用	(7) 農村環境・農業基盤の整備保全
	(3) 戦略的作物の産地化	(8) 林業の担い手育成と生産基盤の整備
	(4) 農業経営の安定化	(9) 森林の保全及び活用
	(5) 販路の拡大	(10) 有害鳥獣による被害防止
商業	(1) 魅力ある商店づくりと賑わいの創出	(3) 新たな活力の創出
	(2) 中小企業の育成	
工業	(1) 経営基盤の強化	(3) 新産業・新分野への進出支援
	(2) 雇用創出と人材の確保・育成	(4) 企業誘致の推進と操業支援
雇用・労働	(1) 就業機会の確保と雇用創出の推進	(3) 職業能力の向上と労働者福祉の向上
	(2) 若年層の市内定着の促進と市内企業の人材確保	
観光	(1) 地域特性を生かした観光の魅力づくり	(4) グリーン・ツーリズムの推進
	(2) 誘客宣伝活動の推進と受入体制の充実	(5) 物産の振興
	(3) 広域観光と外国人観光客の誘客推進	

1 成果指標

指標名	指標の説明	初期値 H27年度	H29年度 実績参考値	H30年度 実績	R3年度 中間目標値	R8年度 最終目標値
①認定農業者数 [累計]	農業の担い手の確保を示す人数（各年度末の数値）	530人	535人	541人	610人	635人
②認定新規就農者数 [累計]	新たな農業の担い手の確保を示す人数（各年度末の数値）	10人	17人	19人	40人	40人
③集落営農組織数 [累計]	農業の担い手として確保する組織数（各年度末の数値）	52組織	58組織	58組織	65組織	80組織
④農用地の集積率 [累計]	農業の担い手（認定農業者、認定就農者、育成すべき農業者）への集積目標	56.2%	58.6%	58.8%	65%	70%
⑤園芸作物施設化率 [累計]	グリーンアスパラガスの生産における施設栽培面積の割合（各年度末の数値）	20.7%	24.2%	24.8%	30%	40%
⑥エコファーマー数 [累計]	福島県から「持続性の高い農業生産方式導入計画」の認定を受けた者（エコファーマー）の人数（各年度末の数値）	1,770人	1,297人	1,170人	2,000人	2,200人
⑦多面的機能支払交付金活動組織数 [単年]	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動に取り組む年間の組織数	91組織	99組織	103組織	113組織	128組織
⑧森林経営計画策定面積 [累計]	間伐・植林等の森林施策について定める「森林経営計画」を策定し、国や県の補助事業の対象となる民有林の面積	2,078ha	2,180ha	2,224ha	3,100ha	3,500ha

指標名	指標の説明	初期値 H27 年度	H29 年度 実績参考値	H30 年度 実績	R3 年度 中間目標値	R8 年度 最終目標値
⑨集落環境診断の実施地区数 [累計]	集落環境診断に取り組んだ地区数	30 地区	44 地区	48 地区	36 地区	51 地区
⑩農作物野生獣被害対策事業取組地区数[累計]	農作物野生獣被害対策事業を活用し、電気牧柵を導入した地区数	7 地区	11 地区	13 地区	21 地区	31 地区
⑪創業者数[累計]	喜多方市創業支援事業計画に準じて起業、創業した数	25 人	54 人	70 人	63 人	103 人
⑫空き店舗活用数 [累計]	福島県活力ある商店街支援事業(空き店舗対策事業)を新たに活用した数	1 件	1 件	0 件	8 件	13 件
⑬工場等新設・増設件数[累計]	工場立地法、福島県工業開発条例に基づく工場等新設・増設届出件数	2 件	6 件	6 件	10 件	20 件
⑭製造品出荷額等 [単年]	工業統計調査(従業員4人以上の事業所)による年間の製造品出荷額等の額(暦年)	713 億円 (H26)	779 億円 (H28)	現時点で 未公表	750 億円	780 億円
⑮有効求人倍率 [単年]	ハローワーク喜多方に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合(年度間)	1.02 倍 (H28.4月 時点)	1.07 倍	0.96 倍	1.00 倍以上	1.00 倍以上
⑯地元就職率 [単年]	管内新規高卒者で管内就職希望者数のうち、管内就職者数の割合	100%	98.9%	100%	100%	100%
⑰観光客入込数 [単年]	本市を訪れた年間の観光客数(暦年)	1,825,786 人	1,865,752 人	1,869,154 人	2,055,600 人	2,383,000 人
⑱宿泊者数 [単年]	市内の旅館、ホテル等の年間の宿泊者数(暦年)	67,301 人	66,775 人	63,732 人	70,800 人	72,800 人
⑲グリーン・ツーリズム交流人口 [単年]	グリーン・ツーリズムで本市を訪れた年間の人数	5,411 人	8,006 人	6,256 人	10,900 人	13,900 人
⑳外国人観光客数 [単年]	本市を訪れた年間の外国人観光客数(暦年)	458 人	519 人	1,089 人	2,400 人	3,900 人

【成果指標からみた実績】

農林業の分野では、10 指標中、向上が 8 指標、横ばいが 1 指標、低下が 1 指標という状況です。向上している指標のうち「⑨集落環境診断の実施地区数」は、近年、野生鳥獣による被害が拡大していることから、新たに実施する地区が増加しているため実績値が向上しています。一方、低下した「⑥エコファーマー数」の減少の理由としては、5 年の認定期間が終了した後、高齢化による離農や再認定申請を行わないことや、環境保全型農業直接支払交付金の交付要件であったことが、平成 30 年度から農業生産工程管理(GAP)で代えることができるようになるなど、メリットが見えにくくなったことなどが要因と考えられます。

商業の分野では、2 指標中、向上が 1 指標という状況でした。向上した「⑪創業者数」の理由としては、創業支援体制の充実に伴い計画性を持った創業者の増加につながったこと、また、創業スタートアップ支援事業制度の活用が図られたことにより実績値が向上しています。

工業の分野では、「⑬工場等新設・増設件数」は、昨年度の増加は見られませんでした。なお、⑭製造品出荷額等は、現時点においては未確定です。

雇用・労働の分野では、「⑮有効求人倍率」は、昨年より低下しているものの、市内高校に通う生徒の、「⑯地元就職率」については回復しました。

観光の分野では、「⑰観光客入込数」と「⑳外国人観光客者数」に増加がみられるものの、㉑宿泊者数や、㉒グリーン・ツーリズム交流人口は減少している状況です。

2 行政サービスに対する満足度・重要度アンケート調査結果

項 目	満足度		重要度	
	H30 年度	R1 年度	H30 年度	R1 年度
(1) 農林業の振興について (1の①～⑩)	44.2 点	46.2 点	83.8 点	83.2 点
(2) 商業の振興について (1の⑪⑫)	37.0 点	37.4 点	81.7 点	81.4 点
(3) 工業の振興について (1の⑬⑭)	33.8 点	33.7 点	84.3 点	84.4 点
(4) 市内における就業の機会や就業支援について (1の⑮⑯)	33.9 点	34.9 点	88.1 点	89.6 点
(5) 観光の振興について (1の⑰～⑳)	54.3 点	57.9 点	82.7 点	81.9 点
平 均	40.6 点	42.0 点	84.1 点	84.1 点

※平成 30 年度、令和元年度に実施した市民満足度・重要度アンケート調査による。

【市民満足度・重要度調査結果についての解説】

以下の文章には、次の内容を記載しています。(※項目は、大綱 1 から大綱 4 まで合わせて 27 項目あります。)

- ・満足度・重要度の順位
今年度の調査結果に基づいた各項目の順位になります。各項目の相対的な位置づけであり、市民の満足の高低、関心の高低がわかります。
- ・満足度で「わからない」を選んだ割合
満足度で「わからない」を選んだ割合が 35%を超えた項目について記載しています。市民に内容があまり知られていないものと推測されます。
- ・満足の理由、不満の理由、重要とする理由、重要でないとする理由
今年度の調査で満足・重要などを選択した理由や市民の意見などの主なものを記載しています。

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 農林業の振興について

満足度の順位は 27 項目中 22 位となり、重要度の順位は 27 項目中 13 位となりました。

不満の理由として、

「市の積極的な担い手育成や支援策が必要」、「農家の後継ぎ不足」、「認定農業者や大規模農家への支援は手厚いが兼業農家や小規模農家への支援が不足していると感じる」といった意見がありました。

重要とする理由として、

「市の基幹産業として農林業は重要」、「農林業が活発になることで商業や観光も発展する」、「地産地消の促進」、「担い手の育成が最重要課題」といった意見がありました。

(2) 商業の振興について

満足度の順位は 24 位となり、重要度の順位は 15 位となりました。

不満の理由として、

「観光との接点をもっと活用すべき」、「中央（ふれあい通り）商店街に活気がない」、「市内で買い物が事足りるように大型商業店の誘致」といった意見がありました。

（3）工業の振興について

満足度の順位は最下位の 27 位となり、重要度の順位は 12 位となりました。

不満の理由として、

「工業振興事業の不足」、「企業誘致や工業団地の P R を積極的に」といった意見がありました。

重要とする理由として、

「企業誘致による雇用拡大」、「若者の定住促進、U I J ターンの促進など人口減少に歯止めをかけるためにも企業誘致を積極的に行うことが大事」という意見がありました。

（4）市内における就業の機会や就業支援について

満足度の順位は 26 位となり、重要度の順位は 4 位となりました。

不満の理由として、

「地元企業は関東方面の企業と比べて賃金や福利厚生の水準が低い」、「就業する職種が限定されている」、「若者が働く会社や安定した収入を得られる企業がない」といった意見がありました。

重要とする理由として、

「就業支援のうち、特に福祉施設の慢性的な職員不足に危機感がある」、「市内で働く若者が減り市外に就職・移住してしまう」、「若者の減少、人口の減少対策が必要」といった意見がありました。

（5）観光の振興について

満足度の順位は 7 位となり、重要度の順位は 14 位となりました。

満足の理由として、

「観光に関して県内外にアピールできていると感じる」、「花でもてなす観光施策により観光客が増加したと感じる」、との意見があった一方、

「一箇所では喜多方の情報を取りまとめた物産館又は情報館のようなところがあれば良い」、「観光は日帰りだけでなく、宿泊を伴う観光の P R が必要」、「商業高校跡地の駐車場利用料等を徴収できる仕組みが必要」といった意見がありました。

3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・中山間地域における農地の集約等が難しい状況がみられることから、各種補助金等の支援制度についての情報提供を強化するとともに、その申請や活用にあたっては十分な支援体制が取れる仕組みづくりを検討してください。
- ・創業者数の実績が向上していることから、今後も各種創業支援事業の充実に努めるとともに、若い世代の創業者が継続して安定的な経営が図れるよう必要に応じた支援施策を関係団体と連携して検討してください。

大綱2 地域を支え未来を拓く人づくり

施策の分野	施策項目	
学校教育	(1) 自己啓発力の育成	(5) 教員の資質・能力の向上
	(2) 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成	(6) 安全で楽しく学ぶことができる学校環境の整備
	(3) 勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成	(7) 均等な教育機会の確保と意欲をもって学べるための支援
	(4) 共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成	
生涯学習	(1) 生涯学習の推進	(3) 青少年の健全育成
	(2) 生涯スポーツの推進	
歴史・文化	(1) 文化芸術の振興・文化芸術活動への支援	(3) 歴史・文化の活用
	(2) 歴史・文化等の発掘、保護・保存、継承	(4) 文化施設の整備
男女共同参画	(1) 男女共同参画社会の推進	

1 成果指標

指標名	指標の説明		初期値 H28年度	H29年度 実績参考値	H30年度 実績	R3年度 中間目標値	R8年度 最終目標値
①「自分には、よいところがある」と回答した割合 [単年]	全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）	小学校	31%	39.0%	47.4%	50%	80%
		中学校	24%	24.0%	30.8%	50%	80%
②全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学の「主に知識に関する問題（A）」と「主に活用に関する問題（B）」の結果の全国との比較（知） [単年]	全国平均との比較	小学校	国A：並 国B：下回る 算A：やや下回る 算B：やや下回る	国A：上回る 国B：やや下回る 算A：全国並 算B：全国並	国A：下回る 国B：下回る 算A：やや下 算B：やや下	各科目とも やや上回る	各科目とも 上回る
		中学校	国A：やや下回る 国B：やや下回る 数A：やや下回る 数B：下回る	国A：やや下回る 国B：やや下回る 数A：下回る 数B：下回る	国A：下回る 国B：下回る 数A：下回る 数B：下回る	各科目とも やや上回る	各科目とも 上回る
③「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した割合（徳） [単年]	全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）	小学校	66.0%	70.0%	72.9%	80%	90%
		中学校	70.0%	65.0%	69.3%	80%	90%
④体力・運動能力調査における達成率（体） [単年]	調査の8種目中、何種目で全国平均値並となったかを表す達成率	小学校	男：46% 女：44%	男：59.6% 女：63.2%	男：51.6% 女：61.7%	男：63% 女：63%	男：100% 女：100%
		中学校	男：23% 女：20%	男：62.5% 女：55.4%	男：53.6% 女：51.8%	男：50% 女：50%	男：100% 女：100%
⑤「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合 [単年]	全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）	小学校	67%	70.2%	63.8%	80%	90%
		中学校	48%	43.7%	40.3%	70%	80%
⑥学級生活満足群と不満足群の割合 [単年]	Q-Uで、学級集団に対し「居心地がよい、嫌な思いをしていな	小学校	満足群：64% 不満足群：13%	満足群：68% 不満足群：10%	満足群：64% 不満足群：12%	満足群：80% 不満足群：0%	満足群：90% 不満足群：0%

	い」と捉えている子どもの割合（満足群）とその反対と捉えている子どもの割合（不満足群）	中学校	満足群:59% 不満足群:19%	満足群:63% 不満足群:16%	満足群:69% 不満足群:11%	満足群:75% 不満足群:0%	満足群:85% 不満足群:0%
⑦生涯学習講座の受講者数[単年]	生涯学習講座を受講した年間の延べ人数		53,837人	53,765人	53,379人	55,000人	56,000人
⑧講師派遣事業支援実施数[単年]	勉強会等への講師派遣の年間の回数		55回	55回	50回	80回	100回
⑨市立図書館の図書貸出し冊数[単年]	市立図書館の年間の図書貸出し冊数		133,273冊	125,189冊	128,854冊	135,000冊	138,000冊
⑩生涯スポーツ活動者数[単年]	スポーツイベント・教室等への年間参加者数		18,994人	18,714人	20,134人	20,000人	21,000人
⑪スポーツ施設利用者数[単年]	スポーツ施設年間利用者数		318,167人	331,295人	324,447人	321,000人	324,000人
⑫文化財活用事業の参加者数[単年]	文化財を活用した各種事業への年間参加者数		2,300人	2,738人	2,981人	2,500人	2,800人
⑬喜多方市美術館入館者数[単年]	喜多方市美術館の年間入館者数		13,629人	9,403人	9,103人	15,000人	16,000人
⑭審議会等における女性委員の割合[単年]	本市の審議会等の委員数に占める女性委員の割合（各年4/1時点）		30.2% (H28)	29.9%	29.4%	40.0%	40.0%
⑮男性の育児休業取得率[単年]	喜多方市役所の男性職員の育児休業取得割合		0%	0%	10%	5%以上	5%以上
⑯男性の育児参加のための休暇取得率[単年]	喜多方市役所の男性職員の育児参加のための休暇取得割合		0%	18.2%	30.0%	10%以上	10%以上

【成果指標からみた実績】

学校教育の分野では、全6指標（それぞれ小学校、中学校6指標ずつ）中、向上が小学校2指標、中学校3指標、低下が小学校4指標、中学校3指標という状況でした。小学校で向上した指標は、「①「自分には、よいところがある」と回答した割合」、「③「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した割合（徳）」の2指標であり、低下した指標は、「②全国学力・学習状況調査結果の全国との比較（知）」、「④体力・運動能力調査における達成率（体）」、「⑤「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合」、「⑥学級生活満足群と不満足群の割合」の4指標でした。また、中学校で向上した指標は、「①「自分には、よいところがある」と回答した割合」、「③「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した割合（徳）」、「⑥学級生活満足群と不満足群の割合」の3指標であり、低下した指標は、「②全国学力・学習状況調査結果の全国との比較（知）」、「④体力・運動能力調査における達成率（体）」、「⑤「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合」の3指標でした。なお、小学校及び中学校のいずれも向上した指標は、「①「自分には、よいところがある」と回答した割合」、「③「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した割合（徳）」の2指標であり、一方、いずれも低下した指標は「②全国学力・学習状況調査結果の全国との比較（知）」、「④体力・運動能力調査における達成率（体）」、「⑤「将来の夢や目標を持っている」の3指標でした。

生涯学習の分野では、全5指標中、向上が2指標、低下が3指標という状況でした。向上している指標のうち「⑩生涯スポーツ活動者数」については、「平成30年から新規事業としてホストタ

ウン交流事業の取組みを開始したことや、各種イベントが好天に恵まれた」ため実績値が向上しました。一方、低下した指標のうち「⑪スポーツ施設利用者数」については、「押切川公園体育館のサブアリーナ LED 照明交換工事や、高郷町の西羽賀体育館が揚津地区災害対応で施設が利用できなかった」ため実績値が低下しました。

歴史・文化の分野では、「⑫文化財活用事業の参加者数」は「発掘体験を追加した市史セミナー開催や灰塚山古墳成果等による文化財講演会開催等による参加者の増加」で向上しているものの、「⑬喜多方市美術館入館者数」については、「夏休み企画展等において入館者数が予定よりも減少」した影響もあり、実績値が低下しました。

男女共同参画の分野では、「⑮男性の育児休業取得率」及び「⑯男性の育児参加のための休暇取得率」について、「イクボス宣言等による制度の周知及び取得できる職場環境の醸成を図るとともに、対象者への働きかけを実施した」ことにより実績値が向上しました。

2 行政サービスに対する満足度・重要度アンケート調査結果

項 目	満足度		重要度	
	H30 年度	R1 年度	H30 年度	R1 年度
(1) 学校教育の充実について (1の①～⑥)	55.5 点	57.0 点	88.2 点	90.6 点
(2) 生涯学習に参加する機会について (1の⑦～⑨)	57.4 点	58.5 点	72.8 点	75.0 点
(3) スポーツ活動に参加する機会について (1の⑩⑪)	56.9 点	58.0 点	72.7 点	72.2 点
(4) 文化芸術に接する機会について (1の⑬)	54.6 点	53.7 点	71.7 点	71.2 点
(5) 文化財や蔵などの保護・保存や利活用について (1の⑫)	58.0 点	58.4 点	74.9 点	76.4 点
(6) 男女共同参画の推進について (1の⑭～⑯)	54.9 点	50.3 点	69.8 点	70.6 点
平 均	56.2 点	56.0 点	75.0 点	76.0 点

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 学校教育の充実について

満足度の順位は9位となり、重要度の順位は3位となりました。

重要とする理由として、

「未来を担う子どもたちの学力向上を重視すべき」、「土にふれ、苗を植え育てる、栽培の苦労や喜び、食べ物のありがたみなどが学べる小学校の農業科はとても良いこと」、「学校給食における地産地消は食育という観点から重要」といった意見があった一方、また、「福島県立テクノアカデミー会津と連携した職業体験の実施」や「学校の統廃合については、丁寧な合意形成が必要」との意見がありました。

(2) 生涯学習に参加する機会について

満足度の順位は3位となり、重要度の順位は22位となりました。

満足の理由として、

「生涯学習の講座は色々な内容があって充実している」、といった意見があった一方、「若者や壮年など働いている世代対象の生涯学習の場が少ないように感じる」、「参加要件に年齢制限や対象年齢があり参加できない場合がある」との意見がありました。また、「図書館において読書に集中できるような仕切りの設置や机の拡張をして欲しい」、「高齢者の活動の場、活躍の場を増やしてほしい」との意見もありました。

(3) スポーツ活動に参加する機会について

満足度の順位は6位となり、重要度の順位は24位となりました。

満足の理由として、

「スポーツや文化・芸術イベントは幅広く行っているので盛んになっていると感じる」といった意見があった一方、「施設利用者は一部の市民に限られていると感じるため、すそ野を広げる工夫が必要」、「スポー

ツ施設におけるトイレの設備充実」といった意見もありました。

(4) 文化芸術に接する機会について

満足度の順位は14位となり、重要度の順位は25位となりました。

満足の理由として、

「21世紀シアターはとても良い」との意見もあった一方、

「喜多方プラザ主催のコンサート・イベントの充実」、「美術館の展示物を魅力的なものに」といった意見もありました。

(5) 文化財や蔵などの保護・保存や利活用について

満足度の順位は4位となり、重要度の順位は21位となりました。

主な意見として、

「市の文化財を広くPR活用すべき」、「蔵の街にふさわしい街並みの検討が必要」といった意見がありました。

(6) 男女共同参画の推進について

満足度の順位は18位となり、重要度の順位は26位となりました。

満足度で「わからない」を選んだ割合が36.3%と高い数値でした。

不満の理由として、

「理解を深める機会を増やしてほしい」、「女性の活躍を推進する施策を提案して欲しい」、「まだまだ女性の立場が弱いように思う」、「女性の社会進出が進んでいる反面、結婚、出産、子育てに対する助成が少ない」、「女性の政治への参画、女性市議を増やすことが大事」といった意見がありました。

3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・地域と学校、生涯学習と学校教育、学校相互など、多様な主体の連携・交流等が展開され、子ども達のより良い学びに繋がるような取組について検討してください。

大綱3 安全・安心、思いやりのある、人にやさしいまち・くらしづくり

施策の分野	施策項目	
子ども・子育て	(1) 保育等の充実	(4) 安全・安心な妊娠・出産と健やかな子どもの発育・発達の支援
	(2) 地域における子育て力の向上	(5) 出会いの創出
	(3) 子育て世代への経済的支援	
保健・医療・介護・福祉	(1) 生活習慣病予防対策の推進	(6) 保健・福祉施設の整備
	(2) 健康づくりに関する普及・啓発の推進	(7) 障がい者への支援
	(3) 地域医療体制の充実	(8) 生活困窮世帯への支援
	(4) 国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の適正な運営	(9) ひとり親家庭に対する支援
	(5) 喜多方市地域包括ケアシステムの構築	(10) 福祉関係団体等への支援
消防・防災	(1) 消防体制の充実	(3) 避難体制の確立
	(2) 防災体制の強化	(4) 救急救助体制の充実強化
生活・安全	(1) 交通安全の推進	(4) 野生動物による人的被害防止
	(2) 防犯体制の充実	(5) 放射線関連の情報の提供
	(3) 市民相談の充実	
社会基盤	(1) くらしや産業を支える道路環境の整備	(5) 良好で安全・安心な住環境の整備
	(2) 快適で住みよい生活環境の形成	(6) 有効的な土地利用等の推進
	(3) 安定した水道水の供給と汚水処理の普及拡大	(7) 地域情報化の推進
	(4) 公共交通の充実	

1 成果指標

指標名	指標の説明	初期値 H27年度	H29年度 実績参考値	H30年度 実績	R3年度 中間目標値	R8年度 最終目標値
①出生数[単年]	本市における年間の出生数	327人	310人	290人	320人	320人
②妊婦一般健康診査(後期)所見ありの妊婦の割合[単年]	妊婦一般健康診査(後期)の受診結果で所見ありの妊婦の割合の減少	47.7%	50.0%	49.1%	28.0% (減少目標)	18.0% (減少目標)
③むし歯のない3歳児の割合[単年]	3歳児健康診査時にむし歯のない子どもの割合の増加	71.5%	75.5%	82.0%	80.0%	82.0%
④特定健診受診率[単年]	国保被保険者の健診対象者のうち、特定健診を受診した者の割合	38.1%	37.8%	現時点で未公表	47.0%	60.0%
⑤メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率[単年]	平成20年度を基準としたメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率	17.51%	19.79%	現時点で未公表	31.0%	41.0%
⑥太極拳ゆったり体操教室数[単年]	市内の太極拳ゆったり体操教室数	53教室	62教室	51教室	58教室	63教室
⑦認知症サポーター養成者数[累計]	市内の認知症サポーター養成者数	1,981人	3,716人	4,587人	3,981人	5,981人

指標名	指標の説明	初期値 H27 年度	H29 年度 実績参考値	H30 年度 実績	R3 年度 中間目標値	R8 年度 最終目標値
⑧いきいき高齢者率[累計]	要介護の認定を受けていない高齢者の割合	80.5%	80.3%	79.6%	83.0%	85.0%
⑨就労継続支援利用者数[単年]	障がい者で、生産活動を通して知識や能力の向上のためのサービスを利用している者の年間の数	150 人	172 人	183 人	165 人	177 人
⑩火災発生件数[単年]	広域消防本部による市内の年間火災発生件数（暦年）	31 件 (H28)	20 件	21 件	25 件 (減少目標)	20 件 (減少目標)
⑪ V-Low マルチメディア放送戸別受信機の配布完了行政区数[累計]	戸別受信機の配布行政区数	0 行政区 (H28)	0 行政区	186 行政区	186 行政区	272 行政区
⑫自主防災組織数[累計]	地域防災力確保のための自主防災組織数	60 組織	68 組織	70 組織	85 組織	110 組織
⑬交通事故による死傷者数[単年]	福島県警察本部交通事故発生状況による市内の年間の交通事故による死傷者数（暦年）	115 件	103 件	77 件	97 件 (減少目標)	82 件 (減少目標)
⑭刑法犯発生件数[単年]	喜多方警察署による市内の年間刑法犯発生件数（暦年）	258 件	194 件	175 件	224 件 (減少目標)	200 件 (減少目標)
⑮道路橋の修繕による対策数[累計]	健全性の診断結果が早期措置段階の橋梁を対象とした修繕による対策数	1 件 (H28)	1 件	2 件	6 件	11 件
⑯1 級市道の舗装補修の対策率[累計]	路面性状調査による MCI が 3 以下の 1 級市道を対象とした舗装補修の対策率	12.5% (H28)	32.4%	46.9%	50.0%	100.0%
⑰本庁、各総合支所相互間を結ぶ所要時間の短縮[累計]	本庁と各総合支所及び各総合支所間を結ぶ所要時間の合計	263 分 (H28)	261 分	261 分	253 分 (減少目標)	243 分 (減少目標)
⑱水道普及率[累計]	行政区域内人口に対する給水人口	87.6%	88.2%	88.8%	87.9%	90.0%
⑲下水道等普及率[累計]	総人口に占める公共下水道、農業集落排水、浄化槽の利用可能人数の割合	61.5%	60.2%	61.3%	68.7%	76.8%
⑳水洗化率[累計]	下水道が整備された区域の人口のうち接続（水洗化）した人口の割合	86.7%	88.7%	89.7%	87.8%	89.0%
㉑一人あたりの都市公園面積[累計]	都市計画区域人口一人あたりの都市公園面積	7.3 m ² /人	7.48 m ² /人	7.71 m²/人	8.45 m ² /人	8.89 m ² /人
㉒公共交通利用者数[単年]	1 日の公共交通利用者数	282 人	277 人	283 人	360 人	492 人
㉓木造住宅耐震診断の実施件数[累計]	S56 年以前に建設された木造住宅で耐震診断を行った件数。※（一社）福島県建築士事務所協会の審査を受けたもの	37 件	42 件	44 件	67 件	92 件
㉔耐震改修を行った木造住宅の件数[累計]	木造住宅耐震診断を行った後、耐震改修を行った件数	1 件	1 件	2 件	6 件	12 件

指標名	指標の説明	初期値 H27 年度	H29 年度 実績参考値	H30 年度 実績	R3 年度 中間目標値	R8 年度 最終目標値
㊸空き家等解体撤去件数[累計]	助言・指導等を行った空き家等、及び相談を受けた空き家等のうち解体及び撤去を実施した件数	3 件	41 件	50 件	33 件	58 件
㊹携帯電話不通話地区の解消[累計]	市内の携帯電話不通話地区数	4 地区 (H28)	3 地区	2 地区	2 地区 〈減少目標〉	0 地区 〈減少目標〉

【成果指標からみた実績】

子ども・子育ての分野では、3 指標中、向上が 1 指標、低下が 1 指標、現時点で未公表が 1 指標（「㊸妊婦一般健康診査(後期)所見ありの妊婦の割合」という状況でした。向上した「㊸むし歯のない 3 歳児の割合」の理由としては、従来から実施している乳幼児歯科健診と併せ、1 歳 6 か月児健康診査の結果がう歯ハイリスク児と判定された幼児を対象に 2 歳児歯科健診を実施し、予防の強化を図っているためと考えられます。一方、低下した「㊸出生数」については、年度によって増減を繰り返しながらも、減少傾向にある状況です。

保健・医療・介護・福祉の分野では、6 指標中、向上が 2 指標、横ばいが 1 指標、低下が 1 指標、現時点で未公表が 2 指標（「㊸特定健診受診率」及び「㊸メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率」という状況でした。向上した指標のうち「㊸認知症サポーター養成者数」の理由としては、養成講座の開催回数を増やしたことなどが考えられます。一方、低下した指標のうち「㊸太極拳ゆったり体操教室数」については、初心者向けに実施している体験教室が減少したためと考えられます。

消防・防災の分野では、3 指標中、向上が 2 指標、低下が 1 指標という状況でした。向上した指標のうち「㊸自主防災組織数」の理由としては、行政区長会などを通じて結成促進を図ったことから増加したと考えられます。

生活・安全の分野では、2 指標中、向上が 2 指標という状況でした。「㊸交通事故による死傷者数」、「㊸刑法犯発生件数」とともに各種啓発事業を実施した取組により向上したと考えられます。

社会基盤の分野では、12 指標中、向上が 11 指標、横ばいが 1 指標という状況でした。向上した指標のうち「㊸空き家等解体撤去件数」の理由としては、市民からの要請により危険な空き家等に対する持ち主への助言や指導を適時適切に実施した結果、増加したと考えられます。

2 行政サービスに対する満足度・重要度アンケート調査結果

項 目	満足度		重要度	
	H30 年度	R1 年度	H30 年度	R1 年度
(1) 子育てしやすい環境の整備について (1の①～③)	49.4 点	55.8 点	89.9 点	90.7 点
(2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について (1の⑥⑧)	59.0 点	58.2 点	86.6 点	87.8 点
(3) 病院などの地域医療体制の充実について (1の④⑤)	45.9 点	47.4 点	90.2 点	91.7 点
(4) 障がい者や高齢者などのための福祉サービスについて (1の⑦⑨)	50.3 点	52.1 点	87.3 点	88.7 点
(5) 自然災害や火災などの防災対策について (1の⑩～⑫)	55.9 点	60.3 点	88.2 点	88.7 点
(6) 防犯対策などの安全・安心なまちづくりについて (1の⑬⑭)	54.0 点	57.6 点	86.8 点	87.6 点
(7) 道路環境等の整備について (1の⑮～⑰)	42.9 点	49.1 点	84.2 点	84.4 点
(8) 公園の整備について (1の⑱)	46.4 点	51.2 点	73.6 点	73.5 点
(9) 生活排水などの汚水処理対策について (1の⑲⑳)	54.1 点	56.3 点	83.7 点	84.5 点
(10) 公共交通機関の利用環境について (1の㉑)	36.8 点	37.4 点	78.2 点	80.7 点
(11) 住宅や住環境の整備について (1の㉒～㉔)	37.9 点	41.9 点	78.7 点	79.0 点
平 均	48.4 点	51.6 点	84.3 点	85.2 点

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 子育てしやすい環境の整備について

満足度の順位は12位となり、重要度の順位は2位となりました。

満足とする理由として、

「子どもの給食費半額補助事業は満足している」といった意見があった一方、

不満とする理由として、

「児童館の大きさや先生の数が子供の数と比例していない」といった意見がありました。

(2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について

満足度の順位は5位となり、重要度の順位は7位となりました。

主な意見として、

「若い世代向けの健康づくりの施策、助成を検討して欲しい」、「シニア世代の体操教室など介護予防策の強化をして欲しい」との意見もありました。

(3) 病院などの地域医療体制の充実について

満足度の順位は21位となり、重要度の順位は1位となりました。

不満の理由として、

「小児科が少なすぎる、時間外、休日に空いているところが少ないことが不満」、「産科が少ない。高度医療機関が無い」といった意見がありました。

重要とする理由として、

「地域医療体制の充実、市民にとって非常に重要だと思う。」との意見がありました。

(4) 障がい者や高齢者などのための福祉サービスについて

満足度の順位は16位となり、重要度の順位は5位となりました。

重要とする理由として、

「サロンなどを実施した高齢者の引きこもり対策」といった意見がありました。

(5) 自然災害や火災などの防災対策について

満足度の順位は2位となり、重要度の順位は6位となりました。

満足の理由として、

「消防の夜警が定期的実施され満足」という意見がありました。

重要とする理由として、

「地域の消防団を中心とした日ごろからの防災対策・体制が重要」といった意見がありました。

(6) 防犯対策などの安全・安心なまちづくりについて

満足度の順位は8位となり、重要度の順位は8位となりました。

主な意見として、

「通学路や住宅街での街路灯の増設を希望」といった意見がありました。

(7) 道路環境等の整備について

満足度の順位は19位となり、重要度の順位は11位となりました。

不満の理由として、

「高齢者や障がい者にやさしい段差のない歩道の整備」、「除雪対応の充実」、「路側線の明確化」といった意見がありました。

(8) 公園の整備について

満足度の順位は17位となり、重要度の順位は23位となりました。

不満の理由として、

「公園の除草対策、毛虫や蜂などの対策も必要」、「遊具の充実」、「公園のトイレの整備」といった意見がありました。

(9) 生活排水などの汚水処理対策について

満足度の順位は10位となり、重要度の順位は10位となりました。

満足の理由として、「下水道が整備され川がきれいになった」といった意見がありました。

主な意見として、

「下水道使用料が高い」といった意見がありました。

(10) 公共交通機関の利用環境について

満足度の順位は25位となり、重要度の順位は16位となりました。

不満の理由として、

「高齢者・交通弱者対策として公共交通機関の充実が必要」、「デマンドバス利用者が増えるよう

な工夫が必要」といった意見がありました。

(11) 住宅や住環境の整備について

満足度の順位は 23 位となり、重要度の順位は 17 位となりました。

不満の理由として、

「倒壊寸前の空き家対策が必要」、「空き家・空き店舗など、防犯、景観、安全、様々な面から買い取り・再利用の斡旋や補助金制度を作るなど、早急な補助が必要」といった意見がありました。

3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・空き家対策について、引き続き、特定空き家対策を強化するとともに、関係機関等と連携した未然防止対策を実施するなど、実効性ある取組について検討してください。

大綱4 自然との共生と元気なふるさとづくり

施策の分野	施策項目	
協働・地域コミュニティ・市民活動	(1) 協働の意識の醸成	(3) 市民活動の推進
	(2) 地域コミュニティの支援	(4) 非核平和のまち宣言の普及啓発
移住・定住	(1) 移住の促進	(2) 定住の促進
連携・交流	(1) 地域間等の連携と交流の推進	(2) 国際交流の推進
生活環境・自然環境・景観	(1) 清流対策の推進	(3) 良好な景観の保全と形成
	(2) 環境の保全	(4) 害を及ぼす小動物や害虫の駆除・防除
循環型社会	(1) 廃棄物減量化の促進	(3) 省エネルギー・再生可能エネルギーの推進
	(2) 環境負荷の低減	

1 成果指標

指標名	指標の説明	初期値 H27年度	H29年度 実績参考値	H30年度 実績	R3年度 中間目標値	R8年度 最終目標値	
①NPO 法人やボランティア団体との協働事業数 [単年]	NPO 法人やボランティア団体と協働で取り組んだ年間の事業数	19 件	20 件	19 件	25 件	30 件	
②NPO 法人組織数 [累計]	本市の NPO 法人の組織数	23 団体	24 団体	23 団体	28 団体	33 団体	
③ふるさと創生事業の採択件数 [単年]	地域づくりに関する補助金の年間採択件数	27 件	36 件	46 件	35 件	40 件	
④公園サポート団体との協定数 [累計]	行政区や地域団体と喜多方市公園等管理サポート協定を締結した件数	33 件	33 件	33 件	35 件	37 件	
⑤道路サポート協定の協定数 [累計]	行政区や地域団体とうつくしまの道・サポート協定を締結した件数	14 件	18 件	20 件	17 件	20 件	
⑥本市への移住件数 [累計]	相談窓口や移住促進のための制度を活用した移住の件数（若者定住補助金利用での転入を含む）	12 世帯 (H28)	40 世帯	69 世帯	62 世帯	112 世帯	
⑦市人口の転出超過数 [単年]	現住人口における年間の転出超過数（暦年）	175 人	263 人	219 人	59 人 〈減少目標〉	17 人 〈減少目標〉	
⑧連携協定等締結数 [累計]	友好都市・宣言、産学官連携、協定等の締結数	37 件	45 件	54 件	44 件	50 件	
⑨国際交流活動参加者数 [単年]	姉妹都市との交流事業や外国語講座等への年間参加者数	205 人	248 人	310 人	250 人	300 人	
⑩地区清掃実施行政区数 [単年]	地区清掃活動による環境美化に取り組む年間の行政区数	250 行政区	259 行政区	233 行政区	263 行政区	272 行政区	
⑪河川の生物化学的酸素要求量 (BOD) [単年]	市内の 2 河川の有機汚濁の程度	田付川	1.6 mg/ℓ	0.9 mg/ℓ	現時点で未公表	1.2 mg/ℓ 〈減少目標〉	1.0 mg/ℓ 〈減少目標〉
		濁川	1.7 mg/ℓ	0.9 mg/ℓ	現時点で未公表	1.3 mg/ℓ 〈減少目標〉	1.0 mg/ℓ 〈減少目標〉

指標名	指標の説明	初期値 H27 年度	H29 年度 実績参考値	H30 年度 実績	R3 年度 中間目標値	R8 年度 最終目標値
⑫まちなみ景観形成事業費補助金の申請件数 [単年]	景観形成住民団体として認定した団体またはこの団体に属する者が行う景観形成事業の年間補助金申請件数	2 件	5 件	1 件	3 件	6 件
⑬一人一日あたりのごみ排出量 [単年]	年間の総排出量から一人一日あたりの排出量を算出したもの	966 g	968 g	954 g	932 g (減少目標)	908 g (減少目標)
⑭リサイクル率 [単年]	市内で排出される一般廃棄物のうち、資源物が占める割合	15.0%	14.2%	13.9%	18.0%	21.0%
⑮住宅用太陽光発電システム導入量[累計]	市内における住宅用太陽光発電システム導入量（資源エネルギー庁公表データ）	2,500 k w	3,060 k w	3,397 k w	4,400 k w	6,000 k w

【成果指標からみた実績】

協働・地域コミュニティ・市民活動の分野では、5 指標中、向上が 2 指標、横ばいが 1 指標、低下が 2 指標という状況でした。向上した指標のうち「ふるさと創生事業の採択件数」の理由としては、より利用しやすい制度とするため、補助メニューに地域課題解決事業のソフト及びハードを創設したことなどが考えられます。

移住・定住の分野では、2 指標中、向上が 2 指標という状況でした。「本市への移住件数」、「人口の転出超過数」とともに「住むなら喜多方！」若者定住促進事業」等の若者等の移住定住施策などにより向上したと考えられます。

連携・交流の分野では、2 指標中、向上が 2 指標という状況でした。向上した指標のうち「国際交流活動参加者数」の理由としては、会津喜多方国際交流協会による日本語教室参加者との交流会開催回数の増加や、中国宿遷市訪問団との意見交換会等の開催などが考えられます。

生活環境・自然環境・景観の分野では、3 指標中、低下が 2 指標、現時点で未公表が 1 指標（「河川の生物化学的酸素要求量（BOD）」）という状況でした。低下した指標のうち「まちなみ景観形成事業費補助金の申請件数」の理由としては、喜多方市役所通り景観づくり協定の事業の大部分が平成 29 年度に実施されたためと考えられます。

循環型社会の分野では、3 指標中、向上が 2 指標、横ばいが 1 指標という状況でした。向上した指標のうち「住宅用太陽光発電システム導入量」の理由としては、市民や住宅メーカー等への市補助金情報が定着し、着実に住宅用太陽光発電システムの導入が図られていることが考えられます。

2 行政サービスに対する満足度・重要度アンケート調査結果

項 目	満足度		重要度	
	H30 年度	R1 年度	H30 年度	R1 年度
(1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて (1の①～⑤)	52.9 点	53.4 点	77.3 点	76.7 点
(2) 移住・定住の促進について (1の⑥⑦)	46.8 点	48.7 点	78.5 点	78.4 点
(3) 国際交流・地域間交流（連携）の推進について (1の⑧⑨)	54.9 点	55.3 点	62.3 点	65.4 点
(4) 環境の保全や市の景観について (1の⑩～⑫)	52.7 点	55.9 点	79.4 点	78.6 点
(5) 地球環境にやさしいまちづくりについて (1の⑬～⑮)	62.6 点	63.4 点	84.5 点	84.5 点
平 均	54.0 点	55.3 点	76.4 点	76.7 点

【市民満足度・重要度調査結果】

(1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて

満足度の順位は 15 位となり、重要度の順位は 20 位となりました。

主な意見として、

「人口減少時代に対応する新たな組織や仕組みづくりを官民一体で構築することが必要」といった意見がありました。

(2) 移住・定住の促進について

満足度の順位は 20 位となり、重要度の順位は 19 位となりました。

満足の理由として、

「自分も補助金対象だったため大変感謝している」、「移住のきっかけに大いにつながると思う」といった意見があった一方、

「人口減対策が最大の課題」、「移住・定住の要は雇用だと思う」、「外からの移住も大切だが、今いる子どもたちが定住するような教育が必要では」、「喜多方市内に屋内プールを！！」といった意見もありました。

(3) 国際交流・地域間交流（連携）の推進について

満足度の順位は 13 位となり、重要度の順位は 27 位と最下位になりました。

満足度で「わからない」を選んだ割合が 42.0%と最も高い数値でした。

主な意見として、

「友好都市や姉妹都市のウィルソンビルの方々が感じる喜多方市の感想を知りたい」などといった意見がありました。

(4) 環境の保全や市の景観について

満足度の順位は 11 位となり、重要度の順位は 18 位となった。

満足の理由として、

「小田付通りが国の指定を受けるなど注目を集めている」といった意見があった一方、

「景観が良くなることで観光客が増えるので、イメージに合った景観づくりを望む」、「日中線し

だれ桜の整備や維持に利用できる資金を、観光客に協力していただく仕組みづくりが必要では」との意見もあった。

(5) 地球環境にやさしいまちづくりについて

満足度の順位は1位となり、重要度の順位は9位となった。

満足の理由として、

「省エネルギー、再生可能エネルギーは今後の社会に大事。市の補助金に満足」、「ごみの分別収集に満足している」、「家庭ごみ収集カレンダーが役立っている」、「子ども会や学校で資源回収に取り組むことにより家族の意識が向上した」といった意見があった一方、

「道にゴミが積まれている状態は不潔と感ずるためゴミ回収ボックスを設置して欲しい」、「稲わらペレットの実用化は有効と考える」、「不法投棄が多いと感ずる。関係機関との連携を強化して欲しい」との意見もあった。

3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・移住件数や転出超過数について、「住むなら喜多方！」若者定住促進事業」等により実績値が向上しているものの、目標値までは及ばない状況であることから、制度内容についてさらなる周知啓発に努めてください。